

2025年2月4日

報道関係各位

公立大学法人北九州市立大学

**北九州市立大学と北九州銀行、山口フィナンシャルグループ、
データ・キュービック及び YMFG ZONE プラニングとの
地域の人材育成と地域活性化に係る産学連携協定を締結
ー産学共同で実践的教育を進め、ビジネス課題解決能力の育成とデジタル人材の創出ー**

公立大学法人北九州市立大学(学長:柳井 雅人、以下「北九州市立大学」と)と株式会社北九州銀行(取締役頭取:嘉藤晃玉)、株式会社山口フィナンシャルグループ(代表取締役社長 CEO:棕梨敬介)、株式会社データ・キュービック(代表取締役社長:多賀本悠介)、株式会社YMFG ZONE プラニング(代表取締役社長:藏重 嘉伸)(以下、「山口フィナンシャルグループ等」)は、互いの特性を活かし、幅広い分野で相互に協力することにより、地域社会の人材育成と地域活性化に寄与することを目的とした産学連携協定を締結しました。

特に北九州市立大学が2027年4月に開設予定である新学部「情報イノベーション学部(仮称・設置構想中)」において、協働で教育を行い、情報工学の先端技術を駆使する高度人材、GX 推進や地域社会の課題解決に寄与するデジタル人材の創出を目指します。

【連携協定に基づき今後推進する取組】

1. 地域を担う人材の実践的育成に関すること

学生が大学での学びを地域社会へ還元するため、課題解決能力の向上に向けた実践的な学びの機会を提供し、地域社会の発展と持続可能な未来の構築に貢献する人材を養成します。

- ①山口フィナンシャルグループ等から講師の派遣や地域課題の情報を提供し、大学と協働で新学部のPBL(課題解決型学習)を実施
- ②インターンシップの実施による実践的な学びの機会の提供
- ③金融教育による金融リテラシーの向上

2. 連携・協力の展開と地域活性化への貢献に関すること

北九州市立大学と山口フィナンシャルグループ等が協働で地域のハブとなり、地域の共創を推進することによって、地域活性化に貢献することを目指します。

例えば、地域の住民・自治体・企業等が抱える問題や課題を顕在化し、地域との協働によって解決策を立案・実施するサイクルの持続化等を想定しています。

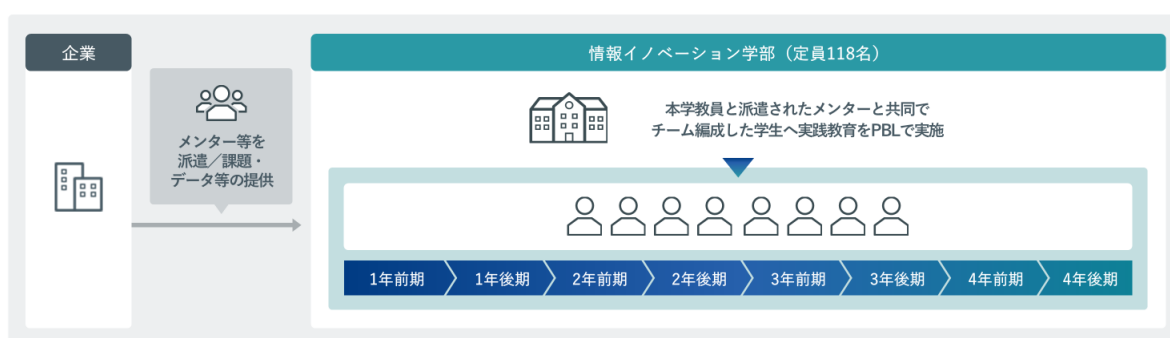
3. 若者の市内定着に関すること

大学で学んだ実務的な経験や知見を地域に還元し、持続可能な地域発展に貢献できる人材の市内定着を促進します。新学部のPBLを通じて地域企業の課題を解決し、学生と地域の結びつきを深めることで、学生が地域の価値を実感し、北九州市内に定着することを目指します。

協定締結日 2025年2月3日(月)

【産学共同で PBL のイメージ】

- 本学教員と派遣された企業のメンターが協働でファシリテートを行い、学生が自己主導型で問題や問い、仮設などの立て方、問題解決に関する思考力やPBL（Project-Based-Learning）を実施
- 学生はテーマに応じてチームを編成し、チームで協力しながら、エビデンスに基づき提供された課題の解決策を発案。学生各人が自分事として捉えた主体的な学修活動を4年間一貫通貫で実施



情報工学の先端技術を駆使する高度人材・GX推進や地域社会の課題解決に寄与するデジタル人材を輩出

＜本件に関するお問い合わせ先＞

北九州市立大学 新学部設置準備課 木下、上田

TEL：093-964-4035

E-mail：shingakubu@kitakyu-u.ac.jp

＜大学広報全体に関するお問い合わせ先＞

北九州市立大学 企画戦略課広報係 石井、押領司

TEL：093-964-4196

※本リリースに掲載する社名等は、各社の商標または登録商標です。